

質問1 しづな薬局様の社員の人数について

男性 2名（辻野 Ph 小川 Ph） 女性 3名（西澤 川田 橋本 Ph）

※Ph：薬剤師です。頼りないですが、筆者の小川が管理を務めさせていただいております。

質問2 しづな薬局様はチェーン店ですか

実は2022年11月に経営が変わりました。印刷業大手の経営となり、今後チェーン展開を予定しています。

質問3 しづな薬局様の創業は何年でしょうか

現在の体制になってからはまだ数ヶ月です。（前経営は平成20年創業と伺っております。）

質問4 しづな薬局様が中志津の地を選んだ理由は

薬局は3回経営が変わっており詳細確認できないため少々話は逸れますが、個人的に他の地域で薬剤師をしてからこの中志津という地域に新参者として来て、本当に素晴らしい地域だなと感じています。医療機関や薬局の数としては決して恵まれない中、住んでいる方同士のつながり（互助）の多さや自治会さんの活動（共助）の多さがこの地域を支えていることを感じています。そういう意味で、この地でやりたいことは皆さんのセルフメディケーション（自助）のサポートを薬剤師としてお手伝いしていきたいと考えています。

質問5 調剤薬局とはどのような薬局ですか

最初に小ネタなのですが調剤薬局は、言葉の定義としては少し変で、トートロジー（同義反復）があります。本来調剤（医師の処方箋に基づいて薬を作ること）はすべての薬局で行える基本的な業務です。調剤薬局という言葉を用いるなら「頭痛が痛い」と同じ使い方になっています。ということで、薬局は調剤以外にも医薬品の販売・健康相談・医薬品の情報拠点・そのた医療のよろず相談を行う場所と思っていただけると嬉しいです。

質問6 店長が薬剤師を志した理由を教えてください。

母が生前に口を酸っぱくなるほど話してくれたのが「誰かのためになる仕事をしなさい」という言葉でした。自分が高校を卒業する直前に亡くなってしまったのですが、この言葉を突き詰めて考えていくと医療に携わることなのかなと考え志すようになりました。

質問7 扱っている薬の種類はどれくらいあるのですか

1,700品目ほどの取り扱いをしています。（一般的な地域の薬局としてはかなり多い部類だと思います。※地域支援の薬局で1200品目が基準となっています。）

質問8 お薬手帳にはどのようなメリットがあるのですか

お薬手帳のメリットは以下の2つあります。

- 1) 飲み合わせチェックの帳簿
- 2) 被災時等の記録のバックアップ

どちらも非常に大きなメリットではありますが、最近では1)を進化させて、かかりつけ薬剤師をもってもらうことの方がよりメリットが大きいと考えています。そもそも、お薬手帳は、薬局の薬剤師が他の医療機関で薬をもらったことが分からず、お薬の飲み合わせのチェックが十分にできないことの対策として無料で作成したところ生まれました。つまり、複数の薬局を利用されることを前提に作られています。

ただ、悲しいことにこの対策をしても薬局によっては十分にお薬のチェックを行っていない事例が散見されポリファーマシー（多剤服用）という問題が多くなってきています。この問題を解決するためには、皆さんの薬物療法を一人の薬剤師が責任をもって守ってもらうかかりつけ薬剤師を選んでもらうことをお勧めします！

質問9 将来、健康保険証がマイナンバーカードに入ることになるとお薬手帳は不要になるのですか

オンライン資格確認などのネットワークを介した情報サービスの拡充は本当に便利なものになってきていますので、非常に有用と考えられます。ただし、旧来のお薬手帳にはメリットに被災時等の記録のバックアップがあり、東日本大震災や熊本地震などの時に電子的な情報を得ることが難しい場面でも役に立ち、有事の際は処方箋なしでも一部お薬がもらえるほど重要になります。安心安全が最重要な医療においては、旧来の紙でのお薬手帳もネットワークの情報も両方利用していくのが最良と思います。

質問10 販売している薬で多いものから順に3つほど上げてください

処方箋医薬品に関しては、広告等の法規制がありお答えできないので、市販薬についてお答えさせていただきます。

- 1位 のど飴
- 2位 便秘薬
- 3位 絆創膏

以下、入れ歯安定剤・目薬・ロキソニン・ガスターと続きます。

質問11 薬の種類を間違えると命に関わる可能性があります、間違いを起こさないためにどのような工夫をしているのでしょうか

ヒューマンエラーという言葉にのっとり、間違いをしない人間はいないという基本をもとに日々の業務にあたっています。

具体的には、

- ・人の目と機械による監査を用いた二重チェック
- ・従業員の継続的な教育
- ・コミュニケーションの徹底

等を行っています。

質問 12 薬を渡す際に色々と質問していますが、その目的を教えてください。

目的とすると、「①安全に、②正しく、③効果的に、お薬を使って頂くため」となります。

『①安全に』については、症状や病状について伺うことがあります。実は、処方箋を薬局の受付に出した時点では、私たち薬局の薬剤師は皆さんが何のためにそのお薬を飲むのか（病名等）を知らされていません。今からお渡しする薬が皆さんの症状にあっているか？などの確認を取るために質問をさせていただくことがあります。

（※決して多くはないですが、過去に同じような別の名前のお薬が誤って処方箋に記載されていることもあり、症状を伺って違和感を覚えた薬剤師が病院へ確認すると間違いが発覚した事例もあります。）

『②正しく』については、生活習慣や嗜好品などを伺うことがあります。お薬によっては使い方を間違えると思わぬ副作用などが出てしまう薬があります。このため、患者さんが誤った使い方に陥らないように質問させていただいております。

『③効果的に』については、まさにかかりつけ薬剤師としての内容になりますが、複数の医療機関や多くのお薬を飲んでいる方で様々な状況を伺いお薬の交通整備を行う役割をすることがあります。

なるべくご負担にならないように伺ってまいります。何卒ご協力の程よろしくお願いいたします。

質問 13 薬を服用する際に注意が必要なことは何でしょうか？

『用法用量を正しく守って使う』ことです！と、基本は今も昔もそうだと思います。しかし、せっかく中志津の皆さんにお話しできる機会なのでさらに、『そのお薬への理解と納得』にもぜひ注意をしてみてください。

『そのお薬はどんな効果・どんなリスクがあるのか？』『どうして、そのお薬が必要なのか？』今医療で求められている患者中心の医療とは、決して医療従事者にお任せすることではなく、治療について利点も欠点も正しく理解して、医療従事者と一緒に考えることを指し

ます。出されたから飲むではなく、ちゃんと理解して納得して飲むことも最近の医療ではとても大切に注意を払うべきこととされておりま。

質問 14 扱っている中で最も高価な薬は何でしょうか？

マシテンタンという成分で肺高血圧症という難病のお薬になりますが、1錠 13,374.6 円が最も高い薬になります。(余談ですが、一般的に使う方の少ない難病のお薬は総じて高額なものが多いです。)

質問 15 ジェネリック医薬品とは、どのような薬品ですか

杓子定規としては、先に出ていた医薬品の特許が切れ、同じ成分同じ薬効として廉価版のお薬になります。例えるならば、キッコーマンの醤油(先発品)とトップバリュの醤油(ジェネリック)という関係と似ています。

どちらも同じお醤油として使えるので、塩分を与える効果は変わらないと思いますが、値段が違うということになります。(ただし、醤油の世界のように美味しさが値段の決め手になる一方で、薬の世界では先発品が最も高くあとは必ず低い値段になるのでわかりにくいです。もしかしたらジェネリックの中には先発品より風味が効いて(?)良い薬があるかもしれません。)

質問 16 薬局はなぜ、ジェネリックを勧めるのですか

国の方針として、増え続ける医療費を抑制して持続可能な医療保険制度とするためにおすすめさせていただいております。ジェネリック医薬品は、先発品と同じ効果なのでコストパフォーマンスが必ず高くなります。(制度については、薬局で支払う1割負担の方で9倍・2割で4倍・3割で3倍の金額が概ね税金から拠出されているので、例えば自己負担が2,000円だったとしても国庫の負担は相当なものになります。その制度が瓦解することになると考えるとちょっとゾッとしますよね。)

また実際には、同じものがより安く手に入るので、単純に皆様の医療負担の軽減に対する一助になればと考えて、おすすめさせていただいていることが多いです。中には、先発品と同一メーカーで、同一の添加物を用いて、同一製造所で製造されているジェネリック(オーソライズドジェネリックと言います。)は基本的に名称だけが変わったものといえるのではないのでしょうか。

ただ、お薬の切替には不安もつきものだと思いますので、ぜひ遠慮なくご相談ください。

質問 17 処方された薬を飲み忘れてたり、症状が軽くなって飲まなくなった薬が引き出しに沢山溜まっているのですが、有効期限はあるのでしょうか

有効期限はあります。概ね2~3年の有効期限でお渡ししておりますが、安全に使うのであれば個別に確認する必要があるため、薬局にご持参ください。

質問 18 お客さんとの間で困ったことはありますか

基本的に病院の後に来局いただいているため、何らかの病（問題点）を抱えていらっしゃるかと考えております。風邪をひいてしまった方から、生活習慣病、癌の方まで非常に様々な病の方がいらっしゃっていて、それぞれ「実は薬を飲みたくない/もっと痛みをとりたい」等の何か困りごとがあるのではないかと考えています。このため、私たちが困ってしまうというより皆さんの困りごとに寄り添えず申し訳ない気持ちになることが多々あります。

薬剤師が何の力になれるんだ？と思われる方も多く、実際ただの薬屋風情でありますので甚だ微力です。ただ、微力でも無力ではないと考えておりますので、もしお時間ありましたら遠慮なくご相談いただければ幸いです。

質問 19 「この仕事をして良かったな」と感じたことがありましたら教えてください。

薬局薬剤師は他の医療人と比較して、長く皆様の健康のお手伝いができることです。その中に悲しいこともうれしいことも多々ありますが、その度に一緒に沢山のことを学ばせていただいております。それこそ、ゆりかごから墓場までではないですが、皆様の生き方・暮らし方を追体験させていただき自分自身、人として成長できる気がしております。（あくまでも、気がしているだけなのですが）

質問 20 最後に、中志津の人達にお伝えしたいことがありましたら

まず、今回このような貴重な機会をいただけたこと大変光栄に思います。今後甚だ微力ではありますが、この中志津という地域の皆さんの健康に一助なるべく頑張ってまいりますので何卒ご査収の程よろしくお願いいたします。

最後に折角の機会なので、内輪の話になりますがぜひ皆様には知っていただきたいことがございます。

11月より突然経営が変わり、皆様にはお見苦しいところをお見せし、ご不便をおかけいたしました。そのような中で見ず知らずの私のような未熟者が現れたにも関わらず、変わらずご来局いただきましたこと本当に感謝申し上げます。ただ、その本当に大変な時期を乗り越えられたのは経営が変わる前後から一緒にこの薬局を守ってくれた事務さんとパートの薬剤師さんがいたからこそだと思っております。残念ながら一人のパートの薬剤師さんは新たな道を見つけて羽ばたいていきましたが、事務さん2人は今でも一緒に頑張ってくれています。薬剤師ではないですが医療を支える大切な仲間として私自身本当に良い出会いだと思っております。

私よりもずっと前からこの中志津を守ってくれた仲間のことをこの紙面を借りてご報告させていただきました。これからも変わらぬご愛顧のほどよろしくようお願いいたします。